

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	協調学習システム特論第一		
英文授業科目名	Topics in Collaborative Learning Systems 1		
開講年度	2006年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	渡邊 成良		
居室	総合研究棟 8 2 5		

公開E-Mail	授業関連Webページ
watanabe@ice.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>英語で開講される科目！</p> <p>インターネットの普及により、メディアによる情報伝達が場所と時間を意識せずに可能になっている。このような情報共有環境を遠隔教育に導入するために、様々な理論と方法が提案され実用化に向けた研究と実験が試みられている。本授業では、World Wide Webを使った教育に不可欠な基本理論と実用化技術に焦点を当て、マルチメディア教材の作成、ネットワーク利用技術、協調学習環境の設計などを理解させる。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
David W. Brooks, Diane E. Nolan and Susan M. Gallagher, "Web-Teaching", Kluwer Academic/Plenum Publishers

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

履修学生が全員日本人で多数が英語IIの形式を望む場合は、Iを変更することがある。

Web-Teaching の歴史 (第1週)

Web-Teaching の研究 (第2週)

Web Courseware (第3週)

Web ユーザ (第4週)

討論の場 (第5、6週)

Web Multimedia Basics (第7、8週)

対話方略 (第9、10週)

Multimedia Beyond Text (第11、12週)

Self-Regulated Learning (第13、14週)

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

第3週以降の7項目がそれぞれ終了した週ごとに課題を出す。成績は、授業中の質問に対する解答(30点)、および項目毎のレポート(70点)により評価する。

課題レポートを英語で提出させる。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電子メールで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

英語の教科書を中心に授業を展開する。特に、授業中に質問しながら理解を深め

させ、システム開発に欠かせない、分析、構成、記述の能力を磨かせる。

【その他】

なし